

リレー随筆

WELCOME TO TAKARAZUKA

今村総合病院 初期研修医2年 榎田 唯人

はじめに

この度リレー随筆を担当させていただきま
す今村総合病院初期研修医2年目の榎田唯人
(えのきだ ゆいと)と申します。執筆してい
る5月現在、私は北海道の倶知安という町で
地域研修をしております。このような状況下
で徹底した感染対策をするならと県外で研修
することを許していただいた帆北院長からの
リレー随筆のご依頼を快諾した次第です。そ
して良くも悪くも平凡な私に務まるのか心配
ではありますが、私の趣味である宝塚歌劇に
ついて少し書かせていただこうと思います。

宝塚歌劇との出会い

まずは男でありながら、宝塚歌劇が趣味で
あることに驚く方が多いと思います。確かに
大半のファンは女性ですが、私はその中で歴
とした男として応援させてもらっています。
宝塚歌劇との出会いは中学3年生の始め頃で
した。数カ月前に一度だけ観劇した母が、衛星放
送の宝塚歌劇専門チャンネル「TAKARAZUKA
SKY STAGE」を契約して、完全に虜になっ
ていました。それを私は食事の際など、横目
で観ていましたが、気付けば私も食い入って
観るようになりました。ラ・サール中学校で
個性も強くまた優秀な友人たちと過ごしてき
て、抑圧された感情を持っていた私は、そんな
自分と反対に、華やかな舞台で堂々と自分を
表現する宝塚歌劇に惹かれたのだと思います。

宝塚歌劇の歴史

歴史についてはざっくりと書きます。宝塚

歌劇は未婚の女性だけで構成される世界でも
珍しい劇団で、幕開けは大正時代の1914年に
さかのぼります。創設者は、阪急電鉄の発展
に貢献し、日本初のターミナルデパート阪急
百貨店の開業や、東宝グループの創設にも力
を尽くした小林一三(いちぞう)です。一三
は、鉄道の乗客誘致の一環として1911年に誕
生した「宝塚新温泉」の拡充にあたり、室内
プールを目玉にした2階建ての洋館「パラダ
イス」を開業しました。しかし、男女共泳を
禁止する時代環境や、温水設備がないことな
どから、夏の2カ月ほどで閉鎖に追い込まれ
ます。そこで、この場所を使って余興を見せ
ようとひらめいたのが、宝塚歌劇のはじまり
です。現在、花・月・雪・星・宙(そら)の
5つの組に分かれて、本拠地である「宝塚大
劇場」(兵庫県)と「東京宝塚劇場」(東京都)、
宝塚大劇場に隣接する小規模なサブ劇場「宝
塚バウホール」の3つの専用劇場と全国各地
の劇場で公演を行っています。初公演から
100年以上の時を経て、今年年間1000回以上
もの公演を行うまでになりました。

宝塚歌劇の魅力

魅了する理由の1つが、女性だけで表現さ
れる世界であることだと思います。清楚で可
憐な娘役に加え、本物の男性より「かっこい
い」と思えるキザな男役の存在感には目を奪
われます。こんな男になればなんと、憧れる
ばかりです。また宝塚歌劇の公演のほとんど
は、お芝居とショーの二本立てです。男役と
娘役の違いを肌で感じ、一人ひとりの個性を

味わいつつ、物語の世界観を堪能できるお芝居と、きらびやかな世界を楽しめるショー、どちらも宝塚歌劇ならではのなっています。ここでショーとは何かと疑問に思う方が多いと思います。歌とダンスを中心に展開されるもので、場面場面に繋がりは一切ありません。興味がない人からしたら、とても眠いものかもしれません。観劇する度に寝落ちしている人を見かけます。ですが好きになればなるほど、次から次へと早替わりする豪華絢爛な衣装、スピード感あふれる場面展開、その中で自分の好きなスターを探さなければいけないので忙しいです。最後には大階段を全スターが順番に降りてくる「パレード」があります。私はこれが1番好きです。パレードの最後には一番大きな羽根を背負ったトップスターが大階段を降りてくるのですが、そのシーンはもう脳汁だらけです。生まれ変わったら宝塚歌劇に入りたい！と強く願う瞬間でもあります。トップスターが背負う羽根は、全長約2m、重さは10kg以上にもなります。この重さを各組のトップスターたちは責任の重さと考えて日々精進しているようです。少し脱線してトップスターについて触れます。花・月・雪・星・宙の各組に1人、トップスターが存在します。400人の劇団員の中に5人しかいません。そもそも宝塚歌劇に入るには宝塚音楽学校に入学しなければなりません、倍率は20倍超えです。ここまで常に競争して登り詰めたのだと感心するばかりです。またトップスターの在任期間は平均3～5年程度で、その後退団します。鹿児島にいる自分がそのトップスターを生で観ることができるのは、これが最後かもしれないと思って毎回楽しみと悲しみを覚えます。この一期一会も魅力の1つです。

私と宝塚歌劇

ここからは私の日常を織り交ぜながら、ど

のように宝塚歌劇応援しているか書いていきます。コロナ禍で、公演の回数は少なくなっており、また席も1席ずつ空けていて、なかなか観ようと思っても観ることができない状態です。まして私が趣味で県外をまたぐことは叶いません。大学時代は、年に2～3回は東京、兵庫、福岡などに遠征したものです。鹿児島でも2年に1回、全国ツアーで宝山ホールに来ていましたが、気付けば来なくなりました。ですがここ数年、ライブ配信を全国の映画館や楽天TVで行っています。千秋楽を配信しているので、トップスターの挨拶や退団者の挨拶など盛り沢山で観ることができます。今は、これを観に行くことで充足感を得ています。劇場に足を運ぶ、映画館に行くことその他には、公演のDVD、またはBlu-ray Discを購入することもあります。iTunes Storeで公演の音楽が購入できるのでそれを購入することもあります。聴きながら通勤してテンションを高めて、出勤します。そして他には衛星放送の宝塚歌劇専門チャンネル「TAKARAZUKA SKY STAGE」があります。過去の公演はもちろんのこと、オリジナル番組を放送してくれるのでスターの素顔まで知ることができます。ざっとこのように日々、宝塚歌劇を観ながら生活しております。そしてファンになってから10年経ちました。下級生時代から観ていたスターがトップスターに就任してきており、熱が深まるばかりです。

これから宝塚歌劇を観る方へ

ここまで読んでくださった皆様、そして観てみようと思ってくださった方が、気軽に生で観る機会がないのは残念です。公演のチケットを取るとなると、先程申し上げたコロナ禍の状況に加え、年々嬉しいことにファンが増加しており（宝塚歌劇好きの有名人が増えたことが影響しているのでしょうか）、ファンクラブに入っているも全然チケットが当たり

ません。まずはライブ配信をお勧めいたします。話題作（「ロミオとジュリエット」、過去には「るろうに剣心」「花より男子」など）や名作（「ベルサイユのばら」「エリザベート」）を行う際には、必ずやテレビ・インターネットで取り上げられていると思うので、ライブ配信の日程などを調べて観てください。必ずや最高の時間を過ごせると思います。顧客満足度も常に上位ですので保証できます。私がこのリレー随筆で宝塚歌劇を書いたのは、ファンがもっと身近に増えて欲しいという気持ちがあるからですので、どうかお願いします。院内では、公演のDVD、Blu-ray Discをお貸

ししますので同じ職場になりましたら声をかけてくれましたら幸いです。

最後に

ここまで拙い文章ではありましたがお付き合いいただきありがとうございました。予断を許さない状況が続きますが、どうかご自愛ください。

次号は、鹿児島大学病院 井上 歩先生のご執筆です。
(編集委員会)